

スマイル タウン

2018
新春
号

第290号

ひの社会教育センターは、1969年に日野市と(財)社会教育協会が協定書に基づいて設置しました。地方自治体と民間団体が協力して運営する社会教育機関は、全国でも初めてのものです。
*日野市以外の方でもご利用いただけます

年始のご挨拶

〈今までの積み重ねに〉

2017(平成29)年8月から、(株)フー・ジャースとの提携により、Tree HALLの管理がはじまり、新館建設を前にA3街区での足がかりができました。9月には「ひの社会教育センターサポーターズの会」がジャズ・クラシックコンサートを行い、事業展開の口火が切られました。また、11月19日には、秋祭りバザーに100名のお客様が来場されているなか、同時にA3街区では「まちびらきフェスタ」が行われ、いよいよA3街区が披露目し、新しい町の中で、新しい仲間たちとの運営が始まっています。12月には、センターで子どもの頃から活動していた、日野出身のアーティスト『SIO』のコンサートに、100名のお客様が来場し、歌のもつ力で感動とともにしました。

毎年バザーには、地域の会員さんや利用団体の方たちが準備の値付け、当日の売り子さんに大活躍していただきます。職員の動きにも勝るもので、感謝でいっぱいであると同時に、みなさんの元気に頭がさがりました。また、毎年多くのバザー品提供、ご協力に感謝しています。そして、このバザーには毎年、遠く十日町市下条の方々、南魚沼五日町の方々と、新潟の皆さんが大勢応援に駆けつけてくださいます。

2018(平成30)年がスタートし、12月には新館が竣工予定です。新しい『市民の館(いえ)』での運営がはじまります。地域の皆さんと作り上げてきた年輪に、A3街区の新たな年輪が刻まれ、私たちの地域活動、地域での仲間がさらに広がり、増えたことが見えます。これからは更にグローバル「地球

新館タイムズ

一新館建設の「いま」をお届けー

さあ、新たな50年に向けてスタートします！
11月に入札公告を行いました。そして、慌ただしい12月、入札の説明会で4社の建設業者の方に集まっていただき、入札結果は年明けの1月15日に出されます。



▲年末のスキーキャンプ
(はじめてスキー・長野県2泊3日コース)

市民」を目標に、柔らかに広い視野で考え、行動出来るセンターで、100年をむかえたいと思います。「もつと色々やってみたくなった!」、「たくさん友達が出来そうだね」とムズムズくすぐられているような「ひの社会教育センター」を作っていきたいと思っています。「一緒にムズムズ!」よろしく願います。

【館長 島崎】



▲新しい模型が完成
センターのロビーに実物があります。

そして、日野市と移転及び新館建設に向けた今後の取り組みに関する確認書が取り交わされました。年が明けていよいよ建設工事がはじまります。入札の後、工事準備に1ヶ月ほど時間を取り、起工式を皮切りに念願の建設工事が始まります。

利用者のみなさまには、建物の状況とあわせ、今までお使いいただいていた研修室等の利用条件なども、気になつていらっしゃると思います。改めて事業なども含め、新館の研修室等をどのように割り振り、利用していただくのか具体的にしていく必要があります。

そして、2018(平成30)年8月までには『市民の館(いえ)』の新しい「利用案内」をつくる予定です。それまでに皆様にお集まりいただく機会をもつて、説明を重ねながら進めていきます。

『ひと』 シリーズ⑦

ピーダーセン海老原さやかさん

デンマーク在住・元センターリーダー

【今号では、原稿を寄せていただいたものを掲載します】

大学の薄暗い廊下の掲示板に貼ってあった、一枚のチラシがすべての始まりです。20年も前の話し。「子ども好きな人、スキーが好きな人集まれ！」といったキャッチコピーの、リーダー募集のチラシでした。その年の冬にはスキースクールに参加し、その後自然学園にも参加し、社会人になってからもセンター通いを続けました。センターに週に2〜3回と足を運ぶ事もあり「豊田に引越そうかな」と考えた時期もあったほど。社会人2年目には、リーダー仲間と誘われて、ひのスキーマンとして十日町の雪像作りも参加し始めました。私の20代、センターなしには語れません。

私の20代に、愉快的仲間との時間があるって、宝だなとしみじみ思います。センターの愉快的仲間と経験は、今でもチャレンジする原動力のひとつ。センターで経験した、いろんな人と一緒にいた／働いた／遊んだことって大きな強みです。いつでもどこでも、自分のできる事、やりたい事を発見し、個人プレー、チームプレーで発揮する力が養われたと思います。

17年前にセンター主催のデンマーク高齢者福祉視察の旅に参加し、ドカンと大きな衝撃を受けました。福祉制度に興味を持ったのはもちろんのこと

いつの日か、デンマークと日本の架け橋に。

デンマーク人の居心地の良い暮らしに惹かれ、留学を決意。視察旅行の3年後に退職し、センターでのアルバイトを経て、デンマークへ飛び立ちました。留学時代に会ったデンマーク人のミケルと結婚し、気が付いたらデンマークに来て13年です。



▲家族で過ごすクリスマス☆
長男トウゴくん次男カイトくんと、シェフの夫・ミケルさんの美味しいごちそうを待っています。

5年前から、特別支援クラスで重度心身障害児クラスの担任をしています。日本語を教えたり、幼稚園や学童クラブでも働きましたが、結局日本にいた頃と同じ仕事に戻りました。3年前には美術教員の資格をとり、今は障がいのある子どもたちとのアートが奥深く、面白いです。

3年前から、デンマーク在住の日本人の友人と3人で「Mormormor」（モアモアモア）というユニットを組んでいます。3人とも保育・教育の仕事をしており、日本の方に職場を案内したり通訳している経験から、日本の方に伝えたいことがムクムクとわいてきて、活動を始めました。

「世界一しあわせな国の教育のおはなし」というお話し会を、2014年から東京で開催しています。世代も背

景も異なる方が、毎年たくさん集まってくれます。参加者の皆さんの、生活や働き方のヒントになったり、参加者同士がつながり、新しいエネルギーが生まれればと思っています。教育・保育の仕事に携わる方も多く参加してくださるので、子どもの学びや大人の働き方についても伝えていきます。私個人としては、重度心身障害の子どもたちの学びと、障がいのある子どもたちの達のアートについて発信しています。

Mormormor の活動を細くても長く続け、それぞれの子供たちが大きくなったら…3人で里帰りして、地方公演しながら温泉めぐり…などという夢を描いています。



▲Mormormor のイベントにて（中央が海老原さん）

Mor（モア）とは、デンマーク語で「母」の意味。

活動は、Yahoo ニュースにも取り上げられました。

「デンマークの日本人母に聞く、仕事と子育ての両立がしやすい理由」を検索してください。

最後にセンターへのエールを一言…
「ずっとそのままでいてください。」

賛助会へのご協力 ありがとうございます

★年会費（順不同・敬称略 10/26～12/25）

- ①個人会員 1口 1,000円
池上洋通 20口 永山美津子 3口 土方フミ子 3口
山田チエ子 10口 辻野由樹 5口
- ②団体会員 1口 5,000円
いにしえ体操会 1口 多摩平卓球サークル 1口
矢千代会 4口 福寿会 2口
- ③特別賛助会員 1口 30,000円
加藤婁子 4口

※日野社会教育センターへの支援と事業の普及、開かれた運営と経営の安定をはかるため皆様のご加入をお願いします。

寄付者ご芳名 11/23～12/22 ご寄付いただいた方

※都合によりお載せしていない方もおられます。

田中茂登子 多摩平卓球サークル 小塩立吉
SIO 高橋紘 伊藤昭夫 上倉荘 （順不同・敬称略）

現在の募金総額 12/22 現在 313名+募金箱



¥19,930,511,-

スマイルタウン発行：（公財）社会教育協会日野社会教育センター
発行責任者：館長 島崎 成利 〒191-0062 東京都日野市多摩平 4-3
電話 042-582-3136 FAX 042-581-0647
http://www.hino-shakyo.com E-mail:info@hino-shakyo.com